

ヤマハニュース 9

YAMAHA NEWS No.159 SEPTEMBER 1976

免許取りどき

バイク乗りどき

9/1~10/31
強力推進運動期間

ヤマハ秋の免許教室



ながつき
長月の山陰



美しい自然と素朴な人情、そして古い歴史と物語がひとつに溶けあつた土地、これが山陰の特色です。北は日本海の荒波に洗われ、南は中国山地に接して、東西に長い海岸線をもつ山陰は、林業、水産業の両資源に恵まれて、夏、冬それぞれの市場をもちますが、ご多分にもれず、都会地への人口流出といった傾向は避けられません。

しかし、そうした中で、一家に一台ヤマハバイクをと、春、夏の強力なセールスキャンペーンがつづけられ、チャビィをはじめとする各種のモデルが、山村地にもいちぢるしい普及をなしとげています。とくに「夏の陣」は後半に入っすばらしい盛りあがりをもせてシェア拡大に大きな成果をおさめました。

こうした実績をもとに、販売店のみなさまは収穫の秋に向けての商戦をスタートさせようとしています。冬場に入ればスノーモビルの活躍も待たれます。山陰のヤマハも全力投入して秋の商戦に入ります。

ヤマハ島根株式会社・オートバイ営業課 田中昌夫課長

表紙のごとば

昭和48年6月の発売以来、女性にもらくらく乗りこなせる乗りやすさと、都会的でおしゃれな感じの親しみやすさで多くのお客さまに愛用され、ミニトレとともにまさにベストセラーといえるバイク—それが『チャビィ』です。

その構造、スタイルから世代、男女を問わず誰もが乗れるバイクとして、実用に、そしてレジャーにとその人気は高まるいっぽう、ユーザー層も一段と巾広くなって日本国中どこへ行っても『チャビィ』を見かけないところはないほどになりました。

「おしゃれな町を気ままに走り、あちこちでウィンドショッピング……気に入ったものがあればその場で買っちゃうの…」こんな現代っ子にもピッタリのバイク、友達みたいなバイクです。

秋は祭りの季節

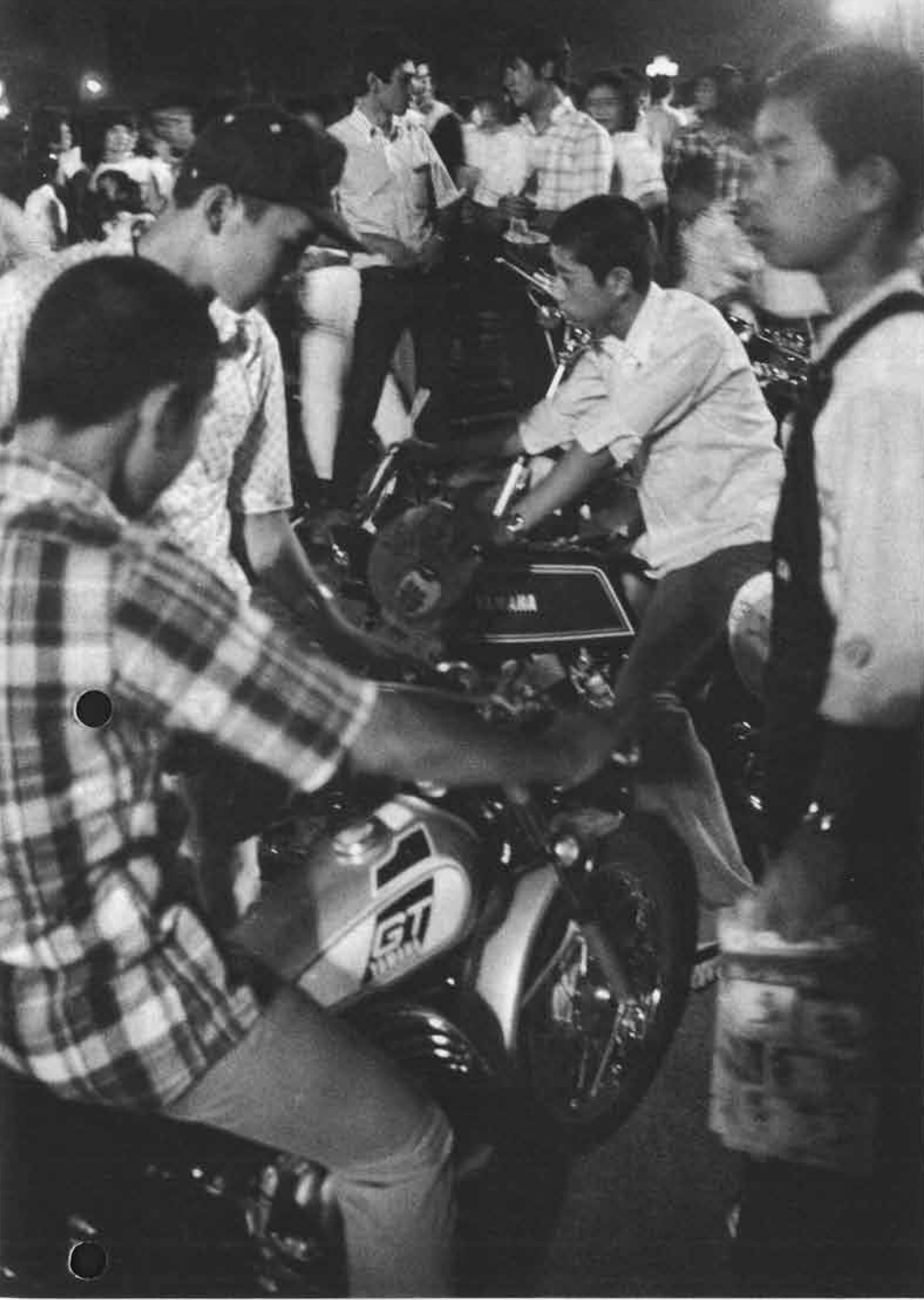
人出の波に乗って出よう!!



合同主催で成果をあげた納涼大会協賛・展示即売会

(鹿児島市フレンド店会)

澄みきった青空のもと、威勢のよい祭り太鼓が聞こえる季節となりました。祭りの暦みをひもとくと、一年三百六十五日、日本のどこかでなにかの祭りが行われていますが、秋は五穀豊穰、実り多い収穫を祝って各地で大小の祭りがひらかれ、われわれの身近かな楽しい行事の季節となっています。とくに最近の祭りは参加者も主宰者という考え方が広まり、地域ぐるみで新しい趣向がとり入れられています。祭りをより盛大に、そして人出の波に乗ってお店のご商売に役立つ参加を積極的に考えてみたいものです。



ここにご紹介するのは、南国鹿児島市のフレンド店会14店さんが恒例の「MBC夏祭り納涼大会」に参加して行われた合同展示即売会です。今回は昨年につづいて二度目の参加とあって、展示スペースも二コマと大きくとり、ヤマハ南九州㈱の協力のもとには「GX750」から「ポビイ」まで全車種を一堂に展示即売する大規模なものとなりました。

最初の予定では七月最終の土、日、月の三日間でしたが、折から台風の上陸があつて月火、水のウィークデーに変更されたものの、夕方六時から夜の九時半まで会場の県立鴨池運動公園は人、人、人の波でうまり、展示即売の成果もまたひとときわ効果的でした。

いっぽうヤマハ南九州㈱部品部では、展示即売会とは別棟に用品関係を出展、即売しましたが、こちらの人気もまた上々でした。

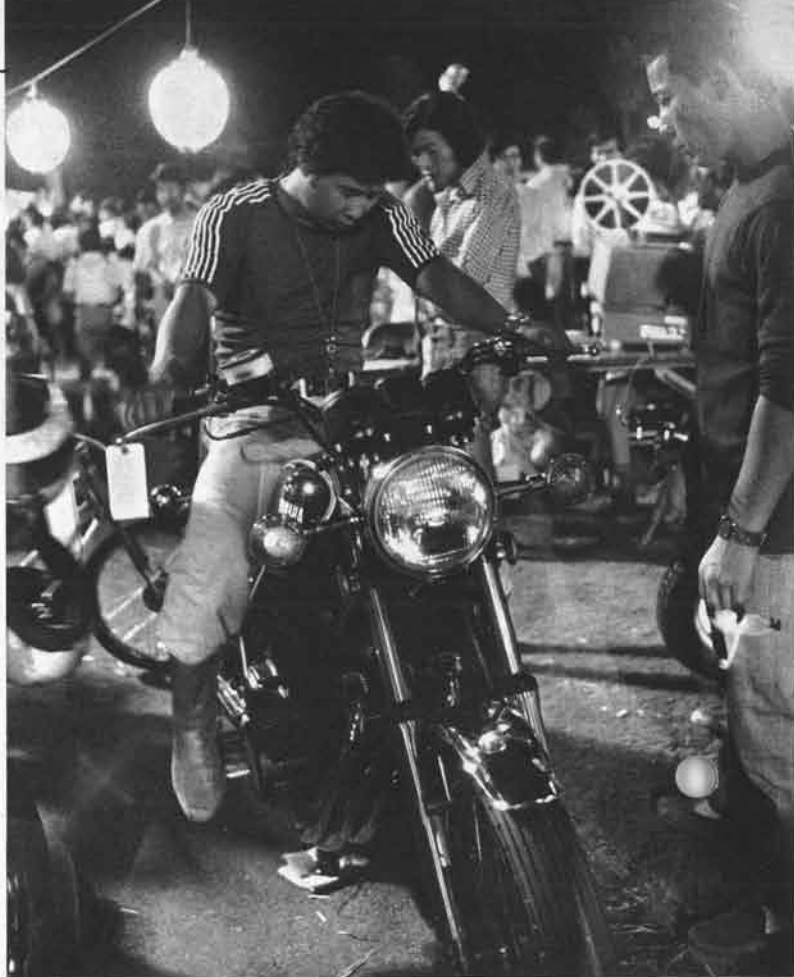
**抽せん券付DMのご案内
会場で購入決定は各店二〜三台**

浜田モーターズ浜田政光社長の話「鹿児島市のフレンド店会は、お互いに協力し合つてヤマハ車のお客さんに気持ちよくバイクを乗ってもらおうという目的でスタートしているものですが、今回も、市民のみなさんがそれぞれに楽しい期待をもっている納涼大会に協力し、このお祭りを盛りあげると同時に、フレンド店会共通の舞台としてお客さまとのコミュニケーションを持つと、昨年につづいて参加したわけです。

みなさんそれぞれがお客さまにDMのご案内

▶ためす、すがめつ「G X 750」の感触を楽しむのもこうした催しなればこそ。ビッグバイクのファンは多い

▼世界GPモトクロスの映画も上映。お客さまは終わるまでスクリーンをくいくいように見つめていた



▲部品部の展示即売コーナーも人気上々
 ▲3日間の動員は主催者発表で29万人。ちなみに鹿児島市の人口は45万人
 ▶ヤングの人気をあつめているのはGT、GRのミニスポーバイクやポビィ、チャビィのレジャーモデル

ヤマハフレンド店会員

オトショップ中山	流田モーターズ
神戸モーターズ	福留モーターズ
新栄モーターズ	双葉モーターズ
新光輪業	松元モーターズ
大栄モーターズ	丸田モーターズ
田上モーターズ	米倉モーターズ
竹田モーターズ	



昨年に増す人気でフレンド店さんも明るい笑顔。左より福留モーターズ福留政一社長、新光輪業久木迫武信社長、浜田モーターズ浜田政光社長、竹田モーターズ竹田辰夫社長、ヤマハ南九州(株)田中営業主任と丸田モーターズ丸田昭賢社長

内し、特賞・クッションバイクほかヘルメット、バッグ、シャツ、エプロンなど、盛り沢山の賞品が当たる抽せん会を会場でひらいたほか、ヤマハが活躍する海外のモトクロス映画も上映するなど、三日間二十九万人のお客さま（主催者南日本放送発表）に楽しんでもらいました。即売会の成果ですが、各店それぞれ二〜三台は出ているでしょう。思いがけず売れ足がよかったのはモトバイクで、これはフリーのお客さまに十台ちかく出たのは大きな成果だと思えます。

ヤマハ秋の免許教室

キャンペーン開始!!

強力推進運動期間 9月1日～10月31日

マトは2つ
どっちも大切な
秋の商戦拡売ヒット作戦。
10月31日までが
勝負どきです。

その①

全国一斉『ヤマハ秋の免許教室』を実施

免許の取り方ご案内から一歩すすめて正しい乗り方まで、親切指導で女性客にアタックする「チャビィ」増売プラン。期間中、とくに9月23日、10月11日を「ヤマハ秋の免許教室デー」として、「女性自身（9月9日発売）」「婦人倶楽部（9月17日発売）」「シヨッピング（9月20日発売）」等の女性誌に大々的にPRし、新しいお客さまをお店にご紹介します。○種のキャンペーンツールを活用し、お店のみなさま全員で協力ください。

その②

新型車も登場。試乗会で売ろうポビィ50

新しいスタイルにプラス乗りやすさでうけている「ポビィ」を、中高年層からヤングまで広げた拡売プランは、売りやすさをさらに増した新車種の登場です。即ち「遠心クラッチ付車」とニューカラー「ホワイト・ポビィ」の完成です。従来のハンドクラッチタイプのモデルに加えますます売れやすさを増した「ポビィ・シリーズ」は、高校生な○ング層をねらった試乗即売ポイント。積極的なお客さまへの呼びかけに、まずお店で試乗車をご用意ください。



ヤマハ秋の免許教室

16才以上どなたでも
バイクの免許をやさしく指導

申込受付中

これはキャンペーン告知のポスター（4色刷・B全3切）。この部分は白地の刷込みスペースです。キャンペーン用ツールとしてはこのほか、●のぼり●ポスター（2種）●ウインドシール（2種）●展示車POP●デモカー小旗●無料試乗券●免許取得案内パンフレット●チャビィ紹介パンフレットがあり、またお店の免許教室開催用として●ウインドステッカー●開催告知ポスター●開催告知チラシ●垂れ幕●テキスト●問題集●乗り方教室指導の手引き●免許教室紙袋●合格記念品（9種類、50個単位お名入れ）●受講者管理カードなどがあります。

YAMAHA



「菅生」で行われた乗り方教室でも「ポビィ」は若い人に大モテ。機にふられて試乗のチャンスをもっと

免許取りどき バイク乗りどき



◆お気づきですか？

昭和51年度上半期に於ける車種別需要の割合を分析してみますと、小径車輪を用いたいいわゆる「レジャー・ファミリーバイク」の伸張率はきわめて高く、実に全車種の43%に達しています（自動車工業会調べ）。

◆大切な女性客へのアプローチ！

「レジャーバイク」の使用実態は、大半以上の方が日常生活の足として利用しています。いわば家族ぐるみ、ファミリーバイクとして生活に密着しています。そして新しい主役が、主婦、OL、家事手伝いなどの女性層。バイクがあれば……の四輪免許所持者も多く、また興味があっても運転の仕方が分からないために乗らない女性はいっぱいいるのです。

◆乗り方指導も含めた免許教室が決め手！

免許教室の重要性は、お店ご自身もつともよくご存知のこと。多くの販売店さまが免許教室をお店の継続的な行事として力を入れています。『ヤマハ秋の免許教室』のスタートを契機として、乗り方指導まで含めた免許教室の開催に全力投入してください。お店の主人さまがインストラクターとして、奥さまともども免許の取り方から正しい乗り方の指導まで行き届いた親身なお世話は、「チャビィ」の新しい大きな需要をつくりだします。

◆全国一斉、ヤマハ秋の免許教室デー！

このキャンペーンを売り大きなものとするためヤマハでは、すぐに役立つ有効なツール類の用意をはじめ、女性誌などマスコミにも大々的なPRを展開し、販売店みなさまのご商売をより有効にフォローいたします。その最たるものが期間中、9月23日、10月11日の休日に行なう全国一斉「ヤマハ秋の免許教室」です。免許教室の開催は、販売店さま一店一店が会場をもち、実施していくことで、お店

の特色も打ちだされますが、種々の事情でそうしたことが実施できない場合、合同開催という方法もあります。免許教室の開催に不安な点があれば、この機会にぜひセールスマンにご相談ください。ヤマハが協力します。

◆お願いがひとつあります

それはこうした全国的な規模で行われる「ヤマハ秋の免許教室」ですから、思わぬお客さまから免許について、乗り方についてのお問い合わせがあるはず。そうした質問に、自信を持って親切にお答えできるよう、お店のみなさま全員が心を新たに免許教室について再考していただきたいということです。少なくともご自分の地区の免許試験日などは前もって調べておいてください。

●さらに売りのやすさを増した「ポビィ」

ハンドクラッチ車に加えて乗りやすい「遠心クラッチ車」が新発売。中高年層、初心者にも乗りやすい「ポビィ」となりました。またハンドクラッチ車は、ニューカラー「ホワイト」を追加、「ホワイト・ポビィ」としてヤング層の目をひきます。いよいよ売りやすさを増した「ポビィ」です。

●もつと多くの人に乗りどきの機会を！

一年中でひときわさわやかな秋、走り楽しい「ポビィ」のまさに乗りどきです。ぜひともお店に一台「ポビィ」の試乗車「デモ・カー」をご用意ください。試乗車を示すステッカーの小旗やお客さまにお配りする試乗券も用意してあります。高校生の下校時や若いお客さまを通じて有効にお配りください。

◎もうひとつお願いしたいことが……

免許取りどき・バイク乗りどき「ヤマハ秋の免許教室」キャンペーンについては、別掲のように各種のツールが用意されています。免

許教室受講者に対しては、いつ試験を受けるのか、受験した結果はどうか、みごと合格した人への訪問は、また試乗に見えられたお客さまへのヤマハクレジットの紹介など、ぜひその後のフォローをきめ細かに実施してください。そのためにもお客さま管理カードを存分にご活用くださるようお願いいたします。

なお、免許合格のお客さまにお渡しする合格記念品はとくに50個単位でお店のお名入りをうけたまわる用意があります。品物の種類や価格については担当のセールスマンにお尋ねください。

業界で初めて免許教室をシステム化したのがヤマハ。長いキャリアに多くの販売店さまがそれぞれに免許教室には趣向をこらし、力を入れてる。

ご自由に お入り下さい

原付免許のことなら

お気軽にお立ち寄り下さい
合格までご指導致します

●原付免許は学科試験のみで取れます

安全運転転指導員の店

原付バイク運転指導

16才以上でバイクに乗ったことのない方
免許お持ちでバイクに乗ったことのない方
安全で楽しくしかも短時間で御指導致します

●場所 中田自動車学校
●日時 毎月金曜日 午後二時～四時
●会費 一五〇〇円

お申込みは当店へ、(85)6776

秋の走りはトレール・ラン



体力十分、お米屋の主人
は鷲尾進さん(29)



自動車修理が本職、技術優
秀の磯島紀雄さん(31)



越後料理は十八番、調理師
の桑野正一さん(26)



建設会社勤務でブルも走ら
す古田一義さん(24)



ノミといえばツチ、大工の
棟梁は中山勲さん(38)



アマさで勝負、製酒業を営
む酒井省吾さん(35)



長島輪業三代目を継ぐ長島
秀男社長(35)

林道ツアーに情熱を燃やす
「XT500」七人衆

▶顔なじみの休憩所で一服。愛車「XT500」の評価は90点。トレールのヤマハがつくった「500の単」なら発表と同時に予約しての採点だ。マイナス10点は何かといえば、何年か先に出るであろうより良い後継モデルのためと、雨天の日の前輪アップフェンダーの水切り。足まわりの確かさと、始動性のよさは抜群で、125cc車なみのキックでかかることをもってPRすべきにご忠告をうけた。有難うございました。



▲「こんなところワイフにみせられないナー」とご満悦の諸氏。秋の林道ツアーはまた格別の走りとなる

▶ズーブブ、低音の魅力で静かな木立の中を走る。ただしこれは撮影のための演出。本当は一列縦隊、適宜に車間距離をおいて正しく走る。



新潟スポーツライダース——新潟市のフレンド店、長島輪業（長島秀男社長）さんをベースに、YDS、YA6、DT1などでモトクロスを楽しんできたつわものたちのクラブである。そしていま、このクラブの面々は、それぞれに「XT500」を愛車とし、林道ツアー「トレールラン」に新しい走りの魅力を見出し、若い情熱を燃やしている。

メンバーは長島さんを入れて九名。そのうち七人が集まって、このほど裏日光に林道走りの一日を楽しんだ。新潟市から会津田原まで二五〇kmは愛車をトラックにのせて輸送、中型バンを伴って土曜日の夕方六時に出発。現地にキャンプを張って翌朝六時に起床、朝食をつくり、昼食を用意。身仕度を整えて日が暮れるまでの一日を、まるまるトレールランについてやそうというのがいつもの計画だ。

「本当は新潟から走ってきてもいいんだけど、あいにく舗装路ときているからね」とはライダー役の酒井省吾さん。「速乗り」というとワイフも子供にもソッポをむかれる。お父さんばかり楽しんで……と笑っているが、お父さんが、こうしたことを学校の作文に綴ったのはマイッタとか。

「林道走りのダイゴ味は、低いスピードでスリルに富んだ走りが楽しめること。雨もちっとも苦にならない」というメンバー推薦の裏日光・林道走りのフルコースは安ヶ森林道から戦場ヶ原などその距離二五〇km。この日は技量の劣る編集子のため、うちよい短かめの距離となったが、それにしてもたつぷりと林道走りの魅力と「XT500」のすばらしい性能を堪能させてもらった一日となった。秋は秋でまた楽しいバイクの季節ではある。

楽しさと安全と…… 青春を謳歌した バイク仲間

夏の祭典「サマーフェスティバルイン菅生」を頂点に、ソロで、グループで、海水浴やキャンプ、地方めぐりにバイクをよき友としてこの夏休みを健全に過したニュースがあちこちで聞かれますが、こうした行事を通じて安全運転の技量習得や交通安全の普及に力を注いだ仲間たちが多いようです。



大小のバイクが仲よく混合で小休止



毎

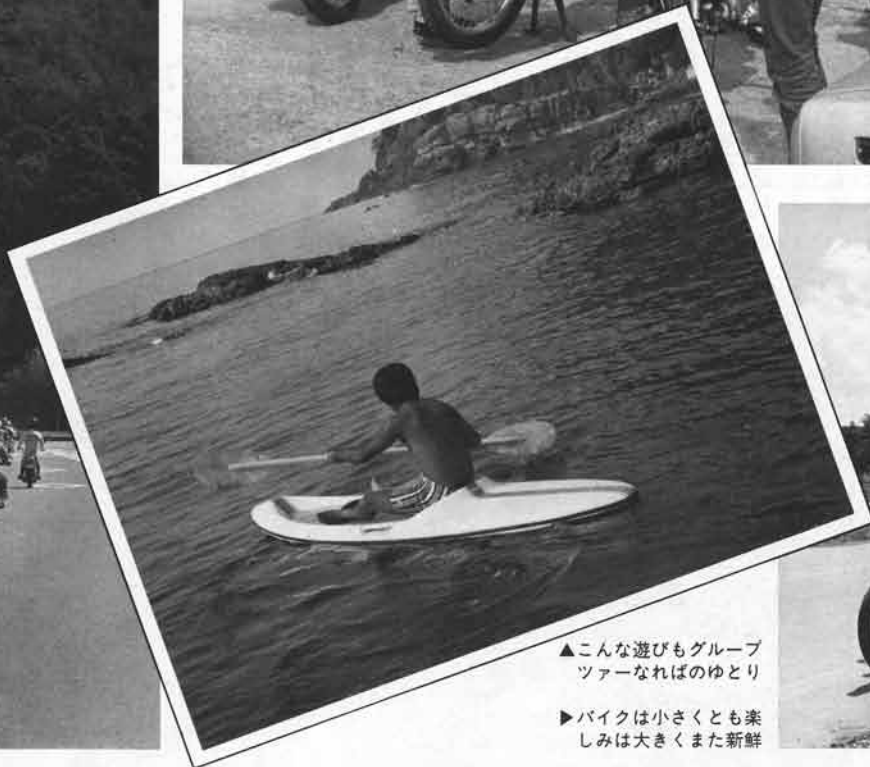
年一回、グループで長距離ツアーを行なっている今井商会さん（神戸市葺合区坂口通り）では、この夏は神戸市から北上日本海沿岸の岩崎町まで、往復三百二十キロの行程を一泊二日のスケジュールで実施、大小35台のバイク仲間がさわやかなバイクの走りの世界を楽しみました。

このツーリングの目的について今井商会今井寿夫専務は次のように話しています。

「うちでは大型バイクもよく出ているので、そのお客さま方の安全運転の技量普及を主目的にこうした行事を行なっています。楽しさの中にもいろいろと役立つ経験が学べる長距離グループツアーの成果は大きいですね。良きリーダーのもと、ルールを守っての



▶前後と中間に指導員がついて初心者グループが走行の距離を伸ばす
▲和気あいあいのバーベキュー。初めての体験がいろいろと語られ、食事もはずむ



▲こんな遊びもグループツアーなればのゆとり

▶バイクは小さくとも楽しみは大きくまた新鮮



いっぼう、こちら静岡県磐田市のテクニカルセンター磐田では、卒業生ばかり50cc車によるグループのミニツーリングが行なわれました。これは実際のツーリングを通じて、同センター卒業生の交通安全の配慮を再確認すると共に、肌でもってグループツーリングの楽しさを知ってもらい、安全運転の技量を高めることが目的とされたものです。

ツーリングの途中では、一定の決められた区間でスピードコントロールのラーニングも行われ、またバーベキューの昼食に舌つづみをうつつなど、一〇キロのワンデーツアーを楽しみました。この催しに参加した14人の仲間のひとり「ソロでは、とてもこんな長い距離を走れないけれど、みんなと一緒に楽しく走ることができ、大きな自信がついた」といい、3名の指導員のもと、この初心者グループツーリングはその目的を十分に上回る成果をあげて解散したものでした。

ツーリングは、とくに初心者に対していろいろと役立つ事項が多く、有益です」

80ccから750ccまでを3グループに分けて行なわれた今回のツアーも、その言葉どおりそれぞれのグループに経験ゆたかなリーダーをつけ、事前のコース調査はもとより、休憩時間などもたっぷりとして、目的地ではトライアルやモトクロスの映写会もあれば、ポート遊びもある楽しいもの。けっして固苦しいツアーではないのです。

リーダーのひとり、三原節夫さんは「七、八年前から参加していますが、今回初めてGX750でリーダーをつとめました。今まで学んだことを基調に、仲間といろいろ話合いました。やはり安全あつての楽しさということ、こうした行事を通じての話し合いは本当に有効です。バイクを仲立ちに、17才から49才の人がみんな一緒に遊び楽しむ、これがグループツーリングのよいところです」

ころ

インSUGO



真夏の太陽をいっぱい浴びて「菅生」の大自然に若い
歓声がわき上がる――

七月三十一日、八月一日、スポーツランド菅生を舞台に
展開されたビッグな夏の祭典「サマーフェスティバル
菅生」は、二日間に全国からのべ二万一千人をうわまわるお
客さまを動員し、多彩なプログラムのもと、人と自然とマ
シンとがおりなすスポーツ「ころ」を雄大な「菅生」の施設
に展開しました。

二年目の夏を迎えた「菅生」では「明るくさわやかなモ
ータースポーツ」の体験の場としてはもちろん「家族で遊
べるスポーツランド」としても広くお楽しみいただけるよ
うにと、当初の建設理念をさらに発展させ、一段と充実し
た施設に、装いも一新した夏のプログラムを展開しまし
た。そのメインとなってお客さまの好評を集めたのが、こ
の「サマーフェスティバル 菅生」です。

本橋明泰、金谷秀夫、高井幾次郎の超一流選手とスーパ
ーレーサー・ヤマハYZR750を迎えての「76ロードレース
日本選手権第5戦北日本大会」

北海道から九州まで日本全国からの選抜選手が、鈴木都



▲緑陰をぬつてテフニックを競う第1回S
Lトライアルイベントには約80名が参加



盛夏にわく菅生。人と自然とマシンがおりなすスポーツご サマーフェスティバル



良夫、瀬尾勝彦らのヤマハセニアとともに、日頃の鍛練ぶりを競いあった「第2回SLモトクロス ⑩ 全国大会」菅生の自然の中に10セクション、2ラップで技を競った「第1回SLトライアルイベント」さらに二名一組のドライバーが50分にわたるデッドヒートを展開した「SLカー トフェスティバル」

そして、新設の交通公園を会場に、バイクの手軽さ、楽しさを身を持って体験していただいた「ハビイバイクパーク」とフェスティバルの中でもメインプログラムとなった「モータースポーツ」は、人、自然、マシンのふれあいの場「菅生」ならではの楽しく健全なモータースポーツの世界を具現して、つめかけた多くのフレンド店さまやそのお客さま、そして家族ぐるみ的一般のお客さまにもバイクの楽しさ、すばらしさをつよく印象づけたものです。

一方、前夜祭として行なわれたロックフェスティバルやお祭り広場の郷土芸能祭、大道芸能祭も、フェスティバルの雰囲気をもっと上げるとともに、スポーツごころを満喫したグループやファミリーの人気を集め、家族で遊べるスポーツランド「菅生」の楽しさの一面を大きくひろげていました。

こうして、真夏の二日間、スポーツランド菅生では、バイクと、スポーツごころを仲立ちに人びとのふれあいの輪が次々と生れたものでした。



▲セニア特別レースでモトクロスの真骨頂を見せた地元の雄・佐々木健二

▶走る人にも、見る人にも楽しく安全なモトクロスを追求めて、菅生ハイランドに展開された第2回SLモトクロス全国大会

お客さまのこえ

■専門誌などの広告を見て、東北、北海道のツーリング中に「菅生」を訪れた人も多く、会場ですぐに友達になったりする。「菅生」の駐車場、くぬぎ山荘、キャンプ村もこうしたお客さままで満ばっていました。



マス・ツアーで駆けつけた多摩ナチュラルライダーズ（東京・小平市／鈴木輪業さん、⑪）や亀クラブ（東京・江東区／中西モーターズさん、⑫）の皆さんは、「1泊2日のツアーですが、数あるモータースポーツを一堂に見れるなんて最高」と語っていました。



▶ヘルメットの下に玉の汗を浮かべて競技に打込む選手、陸の力となって彼らを支えるメカニックやヘルパー、そして限らない声援を送る観衆……、これこそ人と自然とマシンがおりなすスポーツごころのふれあい。
⑬金谷秀夫、⑭高井幾次郎とYZR750

▼めざましいカートの普及ぶりを物語るようにカートコース・パドックは全国からのSLカーターで大にぎわい



▼菅生の青空を彩るシャボンポ熟気球。直径はなんと25メートル!



SL、S、Aの3クラスは2名一組で50分のタイムレース、グループ一丸となつての奮戦が大会のムードを最高にもり上げる



▲バイクの楽しさ、手軽さを、まずさわって、乗って肌で感じていただいたハッピーバイクパーク。まったく初めての人からベテランまで生活の足・バイクへの関心の高さを示すように大好評

▶初めての方には、ベテラン・インストラクターガマン・ツーマンの指導



お客様のこえ

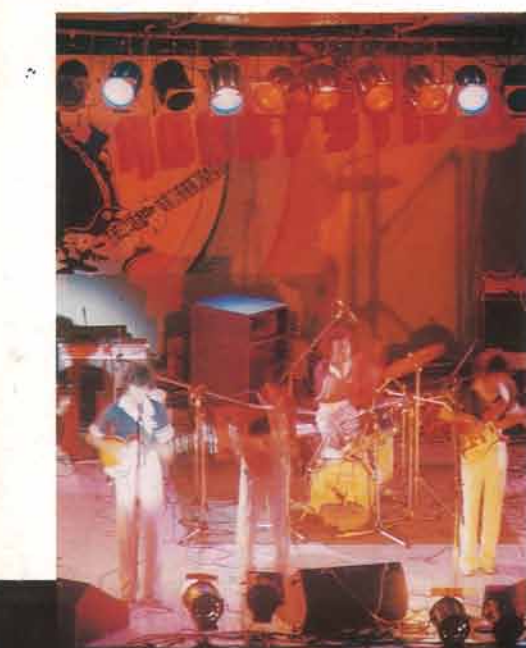


カウボーイハット姿の齊藤輪業さんとお客様

■20人のお客様をマイクロバスにお乗せして、自らハンドルをにぎり「菅生」へいらしたのは宮城県小牛川の齊藤輪業さん。お客様をランドカーにお乗せしてガイド中を一言インタビュー。「70km、2時間ほどの距離ですが、お客様をお連れしたのは初めて、ええ、うちのほうでは今度の大会に、それぞれお店が独自の企画でお客様をご案内したんです。お客様が喜んでくれて本当に嬉しいです。そばでうなぎながらお客様は「子供たちに最高の楽園。齊藤さんに誘われてきて、いいめっけものをしました」と



▲お客様とおそろいでキャンプを楽しむお店のみなさん。そんな姿が目立ったキャンプ村



▲緑の広場にやぐらがすえられ、郷土芸能のオンパレード

◀グリーンガラスホールにさく烈するロックのビート。前夜祭・ロックフェスティバル



▲これはなつかしい！ 大道芸能のかずかずも大集合



▲くぬぎ林の中にキッチンからシャワーまで完備した「キャンプ村」



▲スケールも一段とワイドになった「冒険ジャルダン」



◀大小三つのプールを設けてちびっ子から大人まで楽しめる「プールガーデン」

マナーを守って
さわやかなバイク
ヘルメットをかぶらず
定期点検をうけよう



自分で動かしてるって
感じがいいの。
小さくてとっても簡単だし。
どんなカッコウで
乗ったら
いちばん絵になるかなあ。

沼田早苗 (写真家)



愉快的日々、新しいつきあいをバイクとともに始めてみませんか。
原付免許・普通免許で乗れるファッションブルなヤマハのチャッピー
は、その手軽さ、経済性で女性の人気を集めています。通勤、通学
ショッピングなどの可愛い足としてお使いください。

chappy ヤマハチャッピー = LB 50 II・A
標準現金価格 ¥97,000

ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL. 05383(2) 1111



『バイクでニューライフ』を提唱しているヤマハでは、女性層にマトを絞った広告も積極的にすすめています。ここに紹介する一連の広告もその一例で「女性自身」「ミセス」など女性週刊誌、月刊誌に掲載してきたものです。各界で活躍するトップレディからチャッピーとその魅力あるバイクの効用性をことばユニークに語っていただき、より多くの女性に身近なバイクの存在をあらためて呼びかけバイクのある生活をつよく印象づけました。



“年齢”なんか気にしないの
“何々らしくない”のが好き。
チャピもそう。これに乗ったら
お料理の先生に
見えないでしょ。

バーバラ寺岡(フード
ディレクター)



ホホに嬉しい青い風。バイクで始めませんか、春とのおつきあい。
原付免許・普通免許で乗れるファッションナブルなヤマハチャピィは
その手軽さ、経済性で女性の人気を集めています。バイクデートな
んかも楽しい季節、日々の可愛い足としてお使いください。

chappy ヤマハチャピィ=L B50II・A
標準現金価格 ¥97,000

ヤマハ発動機株式会社 千438 静岡県静岡市新貝2500 TEL. 05383(2)1111





私の作品はみな曲線です。
まるい線にはやさしさがある。
チャピもまるい感じが好き。
シノダユウ (造形作家)



ブラウスの胸いっぱい、緑の風をうけて、走ってみませんか。格好はバイク、でも扱い方は自転車なみ。原付免許・普通免許で乗れるファッションブルなヤマハチャピは、その手軽さ、経済性で女性の人気を集めています。ステキなお嬢さん、なにか新しいコミュニケーションが始まりますよ。

chappy ヤマハチャピ=L B50II・A
標準現金価格 ¥97,000

ヤマハ発動機株式会社 千438静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383(2)1111





好きになっちゃった。
とっても簡単なくせに
走らせてるって感じ。
レディのためのチャッピーね。
田宮千穂 (ジュエリーデザイナー)

初夏の香りを、全身で感じてみませんか。乗り方はとっても簡単、自転車と同じです。原付免許・普通免許で乗れるキュートなチャッピー。通勤や通学はもちろん、バイクでするデートなんて、とっても新しい。さっそうとチャッピーに乗って、さあ誰を訪ねようかな。

chappy ヤマハチャッピー=LB50II・A
標準現金価格 ¥97,000

ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新川2500 TEL. 05383(2)1111



ヤマハハビイバイクセール
実施中(8月15日迄)
ただいまヤマハポピ
ヤマハチャッピーをお求めになると
ハビイエブロンがもらえます。



乗馬やプールに行くとき
秘かに探した
私だけの道を走るの
チャピイに乗って。
おしゃれな感じが楽しいわ。
漆原美代子 (インテリア
デザイナー)



輝く太陽のもと、チャピイに乗って真昼のデートなんか、どお。
原付免許・普通免許で乗れるチャピイは、自転車みたいでとても
簡単。うれしいことに、乗るだけで自分を表現できちゃうユニ
ークなバイク。走ってるあなたって、どんなふうに見えるかな。

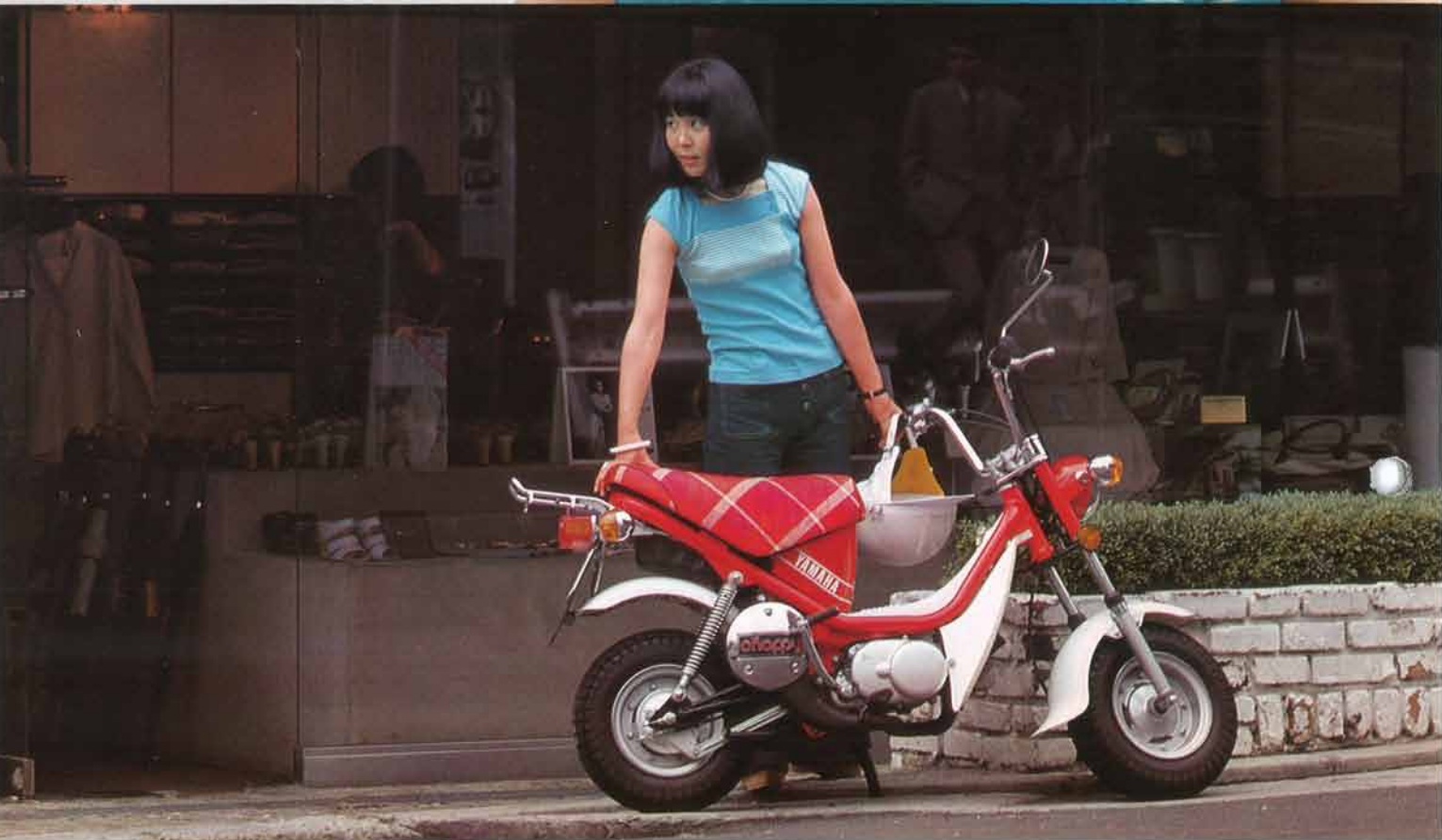
chappy ヤマハチャピイ=LB50II・A
標準現金価格 ¥97,000

ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL. 05383(2)1111



ヤマハハイバイクセール
実施中(8月15日迄)
たばい、ヤマハハイ
ヤマハチャピイを
お求めいただく
ハイエプロンをさしあげます。

車と足の間ってとこかな。
チャッピーがあると
気軽に出かけるようになって
友だちを訪ねる回数が
ふえたみたい。
鳥飼玖美子(同時通訳)



街とあなたを結ぶ通訳、チャッピーってそんなバイクなんです。見なれた景色や街並が、新鮮に見えちゃう。乗り方は簡単、自転車なみ。原付免許・普通免許で乗れますし、経済性も抜群。チャッピーで出かけてみませんか、走ってるあなたはとってもフレッシュですよ。

chappy ヤマハチャッピー=L B 50 II・A
標準現金価格 ¥97,000

ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL. 05383 (2) 1111



芸術と工業と
質実剛健なビールの国
*ドイツ



＊話の応接間 世界の女性



カラヤンの指揮するベルリン・フィルハーモニーは西ドイツ人ご自慢のオーケストラ

戦後とはともに
廃墟の中から
不死鳥のよう
に甦り、奇跡
の復興をとり
げたという歴
史的状況と勤
勉な国民性な
どの共通性が
相まって、日
本人にも大い
になじみのあ
る国と言えま
す。同時に現
在において特
に西ドイツは
機械、化学な
どの工業技術
水準の高さな
ど、西側自由主
義諸国



荘重な古城とラインの流れはドイツの自然の美しさのひとつの象徴

南はアルプスまで南北約900kmに広がるドイツ。ライン流に代表される数々の美しい川と、それらの周囲に広がる牧歌的な田園風景、そして各地に残る歴史と伝統にはぐくまれた古都のたたずま

るのです。

●海外事業部販売一課・竹内和男氏談
「西ドイツには有名なアウトバーンを始め道路は非常に整備されており、バイクも四輪も優秀なのが
多いですが、ヤマハの大型バイクも大変好評で、今年などは去年の180%の伸びを示しています。」

いなどが相まった美しい自然が人々の心をのどかにしています。

よく似ています。家族的な雰囲気です。ヤマハを専門に扱ってくださっているお店は全部で450店ほどありますが、みなさんが日本のフレンド店さんにまけないようにがんばっています」

のリーターの存在として、
国際市場において日本

ドイツは近年においては二度にわたる世界大戦での敗北、特に第二次大戦後は東、西ドイツへの分裂という厳しい状況におかれました。しかし合理性と勤勉を重ねる質実剛健なドイツ人は、敗戦の痛手から見事に立ち上がり、東、西それぞれにおいて独自の生き方をしながら、現在ではともに着実に繁栄の道を歩いているのです。ここでは現在、外交、貿易面などで、日本と密接な関係のある西ドイツを中心にみてみましょう。美術、文化、社会、工業などあらゆる面でドイツは、明治維新以後の近代日本の発展の良きお手本となりました。また第二次大



毎年10月にミュンヘンで行われるビール祭りは西ドイツ最大のお祭りのひとつ

こうした環境から生まれたドイツ芸術は、ベートーベンやゲーテの例を引くまでもなく世界の最高水準を行くもので、ドイツの人々ばかりでなく、われわれ日本人にも大きな喜びを与えてくれるのです。

また西ドイツの南部、バイエルン地方はドイツ人の心の故郷と言われるほどドイツらしい美しさを誇る所ですが、この州都ミュンヘンはオリンピックで有名になりましたし、ドイツのビール生産量は日本の約3倍にもなり、もちろん世界第一位。国民一人当りの消費量も日本人の6〜7倍にもなります。この他ワインやソーセージ、ハムに代表されるドイツ料理も、自然や芸術と並んで人々の生活を一層豊かなものにして

の良

キライバルに

分の生活をエンジョイすることにも恵まれています。北をバルト海と北海に面し、



東西南北に約6000kmにおよぶアウトバーンは西ドイツの工業力を端的に物語っている。

交通安全社会をめざして

軌道にのるヤマハ救護法講習会

二輪車安全運転推進活動の一環として、今年より新たに「救護法の普及」に取組んでいるヤマハ安全運転推進本部では、交通事故負傷者の救護を目的とした救護法講習会を本年二月のヤマハ発動機本社を皮切りにスポーツランド菅生やテクニカルセンター磐田で行ない、救護法の正しい知識を身につけた「ヤマハ救護士」の養成を着々とすすめています。

去る七月二十・二十一日に開かれたテクニカルセンター磐田での救護法講習会には、TCインストラクターをはじめ本社の実験・生産課員や袋井コース員ら約五十名が集まりましたが、さらに社外からも地元消防署員がヤマハの呼びかけ

に応じて参加するなど、地域社会と密着した救護法の普及活動が行なわれ、救護法講習会を修了した「ヤマハ救護士」による救護の輪は徐々に広がりをみせています。

現在、車の運転者には事故による負傷者の救護が義務づけられていながら、その具体的な手法が明示されていないために、救護作業の誤りや遅れによる人命損失が多いといわれているだけに、ヤマハ安全運転推進本部では今後さらにヤマハ安全運転指導員のお店の協力のもとに、救護法講習会を積極的に開催して、救護法の正しい知識の普及に力を入れていく方針です。



▲4～5秒に一回の割合で、空気を口から吹き込む人工呼吸（マウス・トウ・マウス法）を練習する浜北消防署の加茂救急隊員

救護法講習会に参加して

「応急救護は

みんなの手で”

一般の方々にも

広く受講の機会を

浜北市消防署救急業務担当

加茂 憲司氏

これまでの仕事の経験からも、正しい救護の処置をした場合とそのままの場合とは、その後の負傷者の回復度は極端に差が出ています。一般の方々の間には、まだまだ救護法の正しい知識が普及しているとはいえませんが、このような機会を通じて広く救護法が普及されれば、実際にもっと多くの人びとの命を救うことができるでしょう。

救護法を通じて

マナー教育を

テクニカルセンター磐田インストラクター

大隈 晃氏

乗り方を教える立場として、交通事故の救護は最も身近な問題だけに、今回TCで救護法講習会が開かれると聞いた時から、絶対に受講しようと思っていました。教則にも示されているとおり、運転者には救護の義務があります。この講習会では救護の義務法がより具体的で、今後はより具体的な救護法の指導を行なうとともに、人命尊重の意識を高めてマナー教育にも役立てたいと思っています。

我流を返上し

正しい救急活動を

ヤマハ袋井コース監視員

安間 なお氏

コース上での転倒など、事故が発生した場合にはいち早くピットに通報し、救急車を呼ぶのが私たちの主な仕事ですが、時には私た



▶実際にモデルを使って応急救護の説明を行なう岡村先生
▼救護法講習会受講者に発給される受講証



▲脈がない場合に必要心臓マッサージは、両手掌を重ねて胸の真ん中あたりにあて、体重をかけながら垂直に押す動作を繰り返す。
▶適切な救護を済ませたら、保温して頭を低く足を高くして寝かせることが大切（写真で使用のものは、西独製のレスキューシート）

運転以前の安全意識を啓もう

大阪・四営業所が街頭チェックを実施

ヤマハ発動機(株)大阪支店の大阪東・大阪西、堺、吹田の四営業所が合同で主催する二輪車の安全運転チェックが、「二輪車安全運転月間」中の去る七月二十二日(木)、堺市車之町の堺営業所前の路上において実施されました。

今回の街頭チェックには、特別指導員として大阪地区の安全運転推進活動で活躍する大阪西営業所の今中所長をはじめ、大阪東の大阪島所長、堺の衣川所長、吹田の重本所長らが指導員として参加したほか、大阪府警交通機動隊高石分駐所の竹中美春巡査らが立会いましたが、午後二時から四時までの二時間に女

性十名を含む約五十名のライダーに対し、特に①ヘルメットの着用、②改造車(不整備車)、③服装の三項目に重点をおいた安全運転のためのアドバイスが行なわれました。

チェックを受けたライダーのなかには日頃から安全運転を心がけて、手入れの行き届いたバイクに正しく乗っている優良ライダーも多く見られましたが、定期点検の忘れや不良箇所の未修理等の不整備車による走行も多く見受けられ、なかでもヘルメットの不完全な着用など運転操作以前の段階での安全に対する軽視が目立ち各指導員から注意を受けていました。



▲目立ったのがヘルメットのひもを完全にかけていないライダーたち
◀チェック後に手渡された改造車一掃キャンペーン等のチラシ

自身で傷の手当てをすることもありません。事務所の救急設備も我流の手当てでは生かせないので、今回の講習会は非常に有益です。それにしても、救急車が駆けつけてくるまでの20秒間が、こんなにも大切とは知りませんでした。

万一の事故にそなえ 自分たちの手で救護を

ヤマハ発動機技術一課 第一係
北野 招宏氏

雪上車の車体設計を担当している関係上、走行テストはもっぱら北海道の士別やアラスカのバクソンなど零下30℃以下という最悪の条件下で行なっているため、いざ事故にでもなったら乗務員が負傷した時は、それこそ自分たちで面倒を見る他ないんです。冬場は特に視界が悪いので、時には新雪におおわれた木と正面衝突することもあるし、冷気による凍傷など日常茶飯時の私たちにとっては、救護の正しい知識を身につけることがすなわち、安心して仕事に打ち込むことにつながっているんです。

ユーザーに喜ばれるセールスをめざして

学生時代はスポーツに精を出すでもなくなることにもノンポリだったが、大学に入ってからふとしたことでバイクに乗り出し、その魅力に取りつかれ生きがいを見つけたとか——。「バイクは風をつくってくれるんです。ちょっとキザですが」という堀田氏は現在、DTT、DS6、TY250、XT500のバイクを持ち、販売業務のかたわら、自らもバイクのある生活を楽しんでいる。「一人でも多くの人にバイクの魅力を知ってもらいたい」ということをモットーにしている堀田氏に「ユーザーに喜ばれる商売」ということを中心に語ってもらった。

一人ひとりのユーザーを大切に

私の場合、実際に販売店さんとお付き合い願ってからまだ二年ちょっとしか経っていませんし、受け持った場所も現在の区域しか知りませんので、あまり立派なことは言えないかも知れませんが、私が一人のユーザーだった時のことも思い出しながら、少しでも販売店みなさまのお役に立てることをお話ししたいと思います。

私がこの仕事を始めてから一番うれしかったのは、新しく取り引きをお願いした販売店さんが、ヤマハのバイクを売ってくれた時なんです。たくさん売ってくださるおなじみのお店はもちろんです。年に2〜3台のお店でも私はとても大切にしたいんです。

このことは販売店さんにとっても同じだと思えます。つまり、すでに固定客になっていく人はむろん大事にしなければいけません。が、たまに点検や修理だけに見える人にも誠意を込めた対応をしたいものです。それを心がけていけば、その人が次の代替えの時にはお店のお客さんになってくれる可能性が多いわけです。

私がお邪魔するある販売店さんは、お店の前をバイクで通る人や、道で出合ったお客さんに気軽に話しかけては、それとなくバイクの調子を聞いているんですが、私の経験からいってもとても感じがいいですね。そうし

た何げないことでも、お客さんにとっては何れいもので、お店に対するイメージもぐつと違ったものになるんです。当たり前ですが、こうして一人ひとりのお客さまを大切にすることが、新しいユーザーづくり、ひいてはお店の固定客の増大につながるものだと思います。

バイクの楽しさをもう一度伝えたい

私が学生時代にバイクに乗っていた時によく行っていた販売店さんは、ツーリングのクラブを作って、ご主人自らがお客さんと一緒にバイクを楽しんでいました。そうしてバイクを特に若いユーザーには魅力的ですね。お店自体の雰囲気も明るいんです。私は現在は逆の立場ですけど、ユーザーの人とツーリングに行ったり、トライアルを楽しんだりしていますが、もっと多くの人にバイクの楽しさを知ってもらうために、販売店さんにも協力して頂きたいと思っています。

と言いましてもお店の性格やお客さんの層がいろいろですので、すべての販売店のみなさまがツーリングやトライアルなどのクラブを作るというわけにはいきません。また、そこまで必要はないと思いますし、ユーザーの人にも、私はなにもバイクマニアにならなくても、こうしたいことによつてお店の特色を打ち出していくこと、これがこれからの商売に

は非常に大切なことだと思っています。

またも学生時代の話になりますが、ある四輪マニアの友人に、私の持っていた「MR」を貸して上げたんです。その時まで彼は「バイクなんて……」と言っていたんですが、それ以後すっかりバイクの素晴らしさに取りつかれて、「こんなにステキな乗り物があつたのか」と多に感謝されたことがあります。彼が一番気に入ったバイクの良さは、通学の帰り道などに、バイクだと気ままにちょっと寄り道や遠回りができ、学校や自分の家の近所にそれまで気がつかなかつた素晴らしい場所を発見できたことだと言っています。電車やバスや四輪では得られない喜びなんです。

このようなことは決して若い人ばかりの特権ではないんです。メイトに乗ってお仕事に行く先輩の方でも、チャピイで買い物に行く奥さんでも、その気になれば今すぐにでも可能なんです。

今まで、バイクは単なる通勤、通学や買い物足として、その実用面だけしか知らなかった人に、バイクのある生活の楽しさを教えて上げることは、とても良いサービスにもなります。またそうすることは何よりも、バイクの効用性の広がりを更にアピールすることであり、お店の商売にもプラスするものだと考えます。

普及活動と言うと大げさに聞えますが、免許教室と並んで、バイクに乗る楽しさを一人でも多くのお客さまに教えて上げることが、ユーザーに喜ばれる商売として、これからのお店の普及活動には欠かせないものと思います。またそのために、われわれ営業マンの努力もあると、毎日の営業活動に力を入れていくつもりです。販売店のみなさま、今後ともぜひよろしくお引立てください。

●堀田 裕夫(四国支店・松山営業所)

昭和25年生まれ、25才。静岡県出身。昭和49年早稲田大学商学部を卒業してヤマハ発動機に入社。本社において1ヵ月の研修のち四国支店の松山営業所に赴任。現在、愛媛県の西部、松山市と宇和島市の間にある八幡浜市、伊予郡、喜多郡、東宇和郡、西宇和郡地区を担当。



「菊地商会」さん(八幡浜市)のみなさんと。堀田氏(中央)の右が社長、右端が奥さま



▲暑い夏の日、宇和海の漁港のそばの「島本自転車」さん(西宇和郡)と涼を求めての商談

▶八幡浜駅前にある「丸川輪業」さんの息子さん・洋一さん(右)としばしのバイク談義





くつろげる家庭 そして健康をまず第一に

大竹 俊子さん（神奈川県川崎市・野川オート販売（株）大竹 輝夫氏夫人）

俊子さんが加わるようになってからは、週1度のミーティングも明るい雰囲気で行われるようになりました

神奈川県川崎市の「野川オート販売」さんは4年前に「野川輪業」（大竹昭英社長）のオートバイ部門が独立してきたお店。大竹社長とは親類関係にあり、大竹社長のもとで長年修業をつんだ大竹輝夫さんがこの店を任されています。大きな店舗と広い修理場をもち、大竹さんのほかに若くしかも優秀な営業兼修理マンの加藤隆さんとサービスマンの小田島淳さんがしっかりとスクラムを組んで順調に実績を伸ばし、市内でも有数の販売店として台頭しつつあります。

こうしたお店に嫁ついできたのが俊子さん。大竹社長の紹介で俊子さんと輝夫さんがはじめて会ったのは今年の3月でその1ヵ月後にはゴールインといった超スピード結婚でした。お店の2階がおふたりのスイートホームです。

「男3人のお店で、より業績をあげるため意欲的に仕事に取り組んでいるだけに、ときには仕事中心カッカしたり、ぎすぎすした雰囲気になることもあります。そんな時、俊子さんが下に降りてくるだけで店の雰囲気はガラリと変わり、全体にうるおいといったものが感じられるようになった」とお店の人が話してくれました。若く、明るく、しかも美人の俊子さんの「徳」といえますよ。

「男の人の仕事ってたいへんですね。実家が洗たく屋でしたから、朝早くから夜おそくまで働く父たちの姿はよく見てきました。バイクの販売店にはこれとはまた違っていたいへんさ、むずかしさがあるようです。実家の仕事のように技術とサービスを売るだけでなく販売店では商品そのものを売るためのセールス力、そしてもちろん技術力、サービス力が必要とされるわけですから…。幸いなことにうちにはそれぞれ専門の人がいて、主人とぶたりだけですべてをするといった状況ではありませんが、3人で4人分、5人分の仕事を



▼家のかたづけはもちろん、店内をいつもきれいにしておくのが俊子さんの仕事、商品についての勉強の時間でもあります
輝夫さん、俊子さん、大竹社長、加藤さん



するため、主人はバイク販売店の在り方について社長さんたちとよく話し合っています。新米のわたくしには、販売店はこうあるべきだなんてよくわかりませんが、主人は、これからの販売店は多少無理をしてもまず店の規模を大きくすることが必要だといえます。車種はもちろん、関連した商品も豊富に揃え、なおかつ整然と陳列されていてお客さまに好印象を与える、つまり店自体に大きな魅力をもたせるのだそうです。あとは折込、チラシ、DMなどあらゆる方法で地域の多くの人々に知ってもらうことができれば、お客さまをお店に引き寄せてホームブランドで商売することが可能になり、無駄な労力、経費もかからず、効率のよい商売をすることができると、なっていていきます。

主人たちはこんな理想的な店づくりのため、毎日張り切って仕事をしています。そこで、わたくしは主人たちがお店のことで頑張る分だけ、裏方の仕事、つまり家のなかの仕事をしつかりしていくと思っています。主人や店の人たちが毎日健康で気持よく働くことのできる環境づくりに努めます。主人もどちらかといえばそうしたことをわたくしに望んでいるようですし…。

ご主人の輝夫さんは、『働くことが道楽のよつた』とひとからよくいわれるほど仕事熱心です。朝、昼は食事も早々にすませ下において仕事をするというご主人が、ゆつたりとくつろげるのはやはり俊子さんとふたりだけの夕食の時間。充実した仕事のあとに飲むビールが一日の疲れをいやしてくれます。俊子さんはおいしいつまみを用意し、栄養のある手料理で食卓をかざり、ご主人に明日への活力を養ってもらいます。俊子さんの幸せな新婚生活は、このように「くつろぎやすい家庭づくりと健康」をめざしスタートしたのです。



NEWS * TOPICS
ニュースピックス

☎05383-2-1111 内線355
 こちらヤマハ発動機PR課です



お電話でも、おハガキでも、お気軽に、楽しい話題、明るいニュース、これと思う情報をお知らせください。ご質問、ご相談、本誌へのご要望もどうぞ。原稿・写真のご投稿も大歓迎です。宛先は〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社・営業部PR課までどうぞ。ニュース内容によっては編集部員が取材にお伺いいたします。(写真は、GX750をはじめとするビッグバイクで整然と走りを楽しむお客さまたち。秋もまた絶好のツーリングシーズン)

各地で盛況

成果をあげた「奥さまサークル」

八月十五日までつづいたヤマハ夏のキャンペーン「ハビイバイクセール」の一環として開催された「ヤマハ奥さまサークル」は、全国各地でそれぞれ個性あふれる効果的なプログラムのもとに展開されてきましたが、いづこの会場でも、単なる親睦にとどまらずご商売への理解や意欲を高め、積極派奥さまへのきっかけを作って好評を集めました。

まず秋田オート棟大館営業所では、七月四日に、ヤマハ奥さま・チャビイツーリングを開催しましたが、これは傘下フレンド店さんの奥さまの中に、特に日頃からバイクに乗る方が多いこともあって、バイクに対する正しい理解と、奥さま同士の親睦を高めることを目的として以前から懸案だったツーリングが「奥さまサークル」を機に実現したのです。市内の工藤モーターズさん、サイクル・サワさん、丸憲モーターズさん、武田モーターズさん、富田モーターズさんの五店の奥さ

また従業員の方各お一人、そして営業所の女子社員と、女性ばかり八名のグループで、観光地として名高い十和田湖まで約一〇〇キロのツーリング。ご主人やお子様も四輪で同行して、楽しい一日をすごしました。

また、愛媛県新居浜地区での「奥さまサークル」や長崎県諫早でのサークルは、もっぱら座学が中心。原付免許教室の成功事例の紹介、ヤマハらくらくクレジットの講習や部用品類への理解を高める説明会などの集中講義が行なわれ、最後は接客には欠かせない美容教室なども加わって、有意義な一日をすごしたものでした。

こうした中で、どの会場でも見られたのは、こうしたミーティングの定期開催を望む声と、ヤマハ奥さま同士の横のつながりを求める声で、なごやかな中にも、お店のご商売にかける奥さま方のなみなみならぬ意欲のほどがうかがわれたのです。



「ヤマハ奥さま・チャビイツーリング」は、こんなに多勢のみなさんが参加。(大館)



▲充実した一日をすごしたヤマハ奥さまたち。(新居浜)
 ▶「この次はぜひ旅行会も……」(長崎)



世界のヤマハがラインアップ ヤマハ展示場オープン記念 「ヤマハフェスタ」開かる



文字通りフルライン・ヤマハが並んだヤマハ展示場でのフェスタ



試乗会は、ご家族づれにも大好評。

先月号でもご紹介のように静岡県浜松市に七月一日からヤマハ展示場がオープンしたことを記念して、ヤマハ浜松株では、ヤマハフレンド店の皆様のご協力のもとに、七月十七日(土)・十八日(日)の両日にわたって「ヤマハフェスタ」を盛大に開催しました。

フレンド店のお客さまを通じての口コミ、ラジオによる宣伝なども加わって、ヤングから子供づれのファミリーまで、多彩な入場者でにぎわいましたが、会場には、国内ニューモデルから輸出モデルまで、文字どおりヤマハオートバイのフルラインアップが展示されているとあって「得がたい機会」と、お客さまは大喜び。

また、季節柄、ヤマハヨットやモーターボートもレジャーの中心をさそって、入場者の関心を集めました。

「この会場を利用して、つぎはわれわれの共同主催によるフェスタを開こうではないか」という意見もフレンド店さんの間から起きています。

「チャビィおぼあちゃん」 にみる新タイプ需要層

〔ヤマハ千葉(館山営業所)〕千葉県館山市では、ヤマハ千葉(株)館山営業所と、市内及び周辺町村の21店のフレンド店のみなさんの協賛で、毎月一回、合同免許教室を開催し、毎回多数の受講者を集め、大成功をおさめています。

受講者の約7割は女性で、ここでも女性のバイク需要が高いことを物語っていますが、市内に住む小磯千鶴子さんは58才の高令がこの教室に参加、みごと一回の試験で合格しました。さっそくチャビィを購入した小磯さんのチャビィに乗りようと思った動機は「市内に住む娘夫婦の家に行き、孫の顔を見るのが楽しいなものですから」。バスではつい億くうになつてチャンスがなくなってしまうものから、お孫さんに会いに行く回数も増え、ごきげんです。そして最近、もうひとつの楽しみが加



バイクに乗って元気はつらつの小磯さん(右)と別府さん。

●ご活用ください

新しいPR用品 YZ250プラモデル

お店のご商売の幅を広げるPR用品として新たに「YZ250 プラモデル」が加わりました。ご覧のとおり、各地のモトクロスで活躍するヤマハモトクロスーYZ250そのまま。6分の1スケールで、フロントフォークのエアサス、リヤのモノクロス・サスペンションも全く同様に作動する精密なもので、早くも急増するプラホビー・ファンの人気を集めています。

なお詳細は担当セールスマンにおたずねください。



まずお店の存在を 知らそう

「売れる時代」から「売る時代」へ、とはよくいわれることですが、これは売る工夫と努力が以前にもまして必要性を高めていることを表わしています。

二輪ユーザーといえば、ある程度年齢、性別などのイメージが浮かび上がった時代は去りいまでは、お客さまの層も多岐多様。それだけに、お店には専門店として、また地域店としてのご商売の展開が求められています。

あなたの商圏の中に、お店の存在を知らないお客さまがいるのでは？ まずここからスタートです。いまさら、そんなこと！ とお考えになる前に、では同じ商圏の中で、買手の立場に立って他業種（例えば家電品とか食料品とか）のお店を思い浮かべてみましょう。ほとんどの店名がスラスラと出てきますか？ まずお店の存在を知らせる。これには地元密着したご商売と、いつも話題にどんだおしゃべりがまず第一です。地域の路線バスや街頭、新聞折り込みなどを利用してのPRからはじまって、最近では逆に全国規模の二輪専門雑誌などを利用したお店の広告も目立っていますが、これも一法。そして、こんな日頃の活動の成果を大いに高めるのが独自のセールや、一連のヤマハ・セールスキャンペーン、「免許取りどき、バイク乗りどき、ヤマハ秋の免許教室」でもご健闘をどうぞ。



昨年の東福寺に続き、EJのダブルタイトルをねらう光安

販売店さんとヤマハの 女子従業員がツーリング

〔北海道ヤマハ〕ツーリングと言えば大型バイクで、というものはや、今は昔のお話。最近では、ミニトレやTY、GRなどでご機嫌なグループツーリングを楽しむヤング。また奥さまだけのチャビイによるほがらかツーリングと、小さいミニバイクで大きな楽しさ

館山営業所の石原所長は「最近では、バイクが、生活の足」としてどうしても必要な人々ばかりでなく、小磯さんのように、バイクがあつたら便利で楽しいとバイクライフをエンジョイするような、生活のゆとり」としてとめる婦人層が目立ち、こうした人々は今後ますます増えるものと期待されます。販売店さんでも小磯さんのような需要層にまで積極的にアプローチしてほしいですね」と語っていました。

* * *



「ナイン・クラブ」の面々と館谷社長(左端)



いつもヤングでにぎわう「アメヤ・モーターサイクル」さん。

を味わっている人たちが急増しています。こちら、夏の短かい北海道でもご多分にもれず、短かいながらも梅雨のないさわやかな夏を、バイクで文字通りさわやかツーリングを楽しむ人が多く見受けられます。そんなご時勢に刺激されたか、うちの女子従業員も「お客さまたちが楽しんでいるのをただ見ているだけではつまらないわ。私たちも楽しんじゃいましょう」というわけで、「ナイン・クラブ」(ポインがナインという説も?)というミニツーリングクラブを結成し、さわやかランドを満喫しています。

とは言え、「女性だけではちよつと遠くへ行くには」と言う声も。そこで「それでは私たちが一緒に行きましょう」と声をかけてくれたのが札幌市内にある「アメヤ・モーターサイクル」(社長・館谷孟氏)さんです。「アメヤ」さんは今年の6月にオープンしたばかりですが、館谷社長はもう何年もドライアルなどの普及活動でよくヤマハの仕事をお手伝いして頂きました。

オープンしたお店は、なかなかキレイで、用品類も多く揃えてあり、若い人たちがいつもにぎわっています。「アメヤ」さんでは、今後ツーリングなどを通して、安全運転の普及に大いに力を入れて行きたいと話しています。

光安、250CC級でも ランキングのトップに



北と南で交互に行われている感じの全日本モトクロス選手権、第8戦は7月24、25の両日、四国の松山市は道後温泉から少し奥に入った松山オートランドで2年ぶりの開催となった。

第7戦までにエキスパートジュニア125ccクラスで4勝を上げ、ポイントランキングでも2位の青山金助(スズキ)に大差をつけて同クラスのタイトルを早々と決めた光安鉄美は、第8戦では250ccクラスで2勝目を上げ、このクラスのランキングで2ポイント差で1位にいた青山に逆転しダブルタイトルへ大きく前進した。

この日、光安は125ccではリヤ・タイヤのトラブルでリタイヤしたが、ダブルタイトルをねらう今の彼にとっては本番とも言える250ccクラスでは完璧な走りを見せた。スタート直後、ポーンと飛び出したのが光安。普段なら中団が後位置からスタートし、その後周回ごとに他をゴボー技さすのが常の光安だが、このレースばかりはダブルタイトルをねらう意味では非とも確実な勝利をめざしたのか、素晴らしいスタートだった。前に誰れもないければあとは2位以下をどの位離す

全日本モトクロス選手権第8戦松山大会

かに興味を持たれたが、決局50秒近い差をつけてゴールインした。このレース、ライバル青山がリタイヤしたため、ポイント争いで光安は青山に13点の差をつけてトップに立った。また、EJでは光安のチームメイトである末永初弘も健闘して125cc優勝、250ccでも2位に入った。

ヤマハのセニア勢のうち、杉尾良文と東福寺保雄はアメリカ遠征のため不出場、鈴木都良夫と瀬尾勝彦に期待が持たれたが、両選手とも元気がなく、瀬尾が125ccの2位、250ccの4位にとどまった。

全日本選手権第6戦・菅生ロードレース大会

YZR750
高井幾次郎
雨の菅生を独走
E750

「サマーフェスティバルイン菅生」を中心に七月、八月の二カ月間、緑と太陽のフェスティバルとして多彩なイベントを展開して人気を呼んだ夏休みのスポーツランド菅生。モータースポーツでも話題のイベント、注目のビッグレースが各コースに相ついで開催されたが、そのトップを飾ったのが東北ではまる一年ぶりのロードレースのビッグレース、全日本選手権第6戦・菅生ロードレース。

七月十七日、十八日と予戦、決勝とあいにくの雨にたたられたものの、遠く関西、関東から集まった選手たちは、肌寒ささえ感じさせる荒天にもめげず二・六五五キロのハイスピードコースに熱戦をくりひろげた。

特に350、500、750ccというビッグレーサーが出場するエキスパート750ccクラスは、他サーキットではしばしば雨で出走中止のケースも見られたが、路面の良さ、水ハケの良さで定評の菅生ロードコースに棄権もなく全選手がスタートポジションに並んでファンを喜ばせた。

さて、雨に霧も加わって最悪のコンディションの中でスタートを切ったエキスパート750ccレース。注目の今季国内初登場の高井幾次郎・ヤマハYZR750、そしてスズキRG500の安良岡健、TZ750の浅見貞男らのビッグ勢は



雨と霧の中30周を独走した高井・YZ750

スタートに手間とりTZ350の佐藤順造、石井康夫ら中堅エキスパートが、まず序盤をリード。しかし、三周目から高井のYZRが本領を発揮してトップに進出、以降はサイレンサーを装備して排気音も低く、快調にラップを重ねていく。終盤激しい三位争いを演じていた浅見、安良岡が揃って二位を行く石井をかわし、さらに安良岡が浅見を抜いてトップ追撃態勢に入ったが、これも半周いかぬ間に転倒リタイヤ。結局予選から抜群のタイムをマークしていた高井をトップに、二位浅見、三位石井四位佐藤とヤマハ勢の上位独占に終わった。

なお当日は、レースクイーンとして歌手の西口久美子も登場、ハードなレースに彩りをそえた。九月十一日、十二日には再び菅生で全日本選手権・第八戦が開催される。

全日本選手権第7戦
スズカ200マイルロードレース大会

毛利良一みごとなクラス優勝
E350

ロードレースの真夏の恒例「スズカ200マイル」は、こどもも猛暑の鈴鹿サーキットで八



月七日、八日の両日行なわれた27周・2ヒート、もちろんもっか国内のロードレースでは最長距離を走るこのレースも今年にはジュニア250/350、エキスパート350/750と四クラスの混合レースとなった。

七日の予選では今季鈴鹿三連覇を狙うTZ750の河崎裕之が実力のポールポジション、そして鈴鹿初登場のスズキRG500の岩崎勝その後に佐藤順造、糟野雅治、毛利良一のTZ350勢がつづいた。

八日十一時、これまた国内ロードレースではこのレースが唯一のクラッチスタート（エンジン・スタート）で火ぶたを切った第一ヒート・27周は予想どおり二周目から河崎がトップ、しかしこれも十周目の転倒で惜しくもリタイヤすると代わって岩崎、安良岡が先頭へ、そして佐藤、糟野、毛利らが一団となつてこれを追う。

一回のピットイン、10以上の燃料補給の義務を果すために中盤からは各車続々とピットイン、慌ただしいピット作業の中でめまぐるしく順位が変わる。こうした中で、つい

ヤマハ提供、話題のテレビ番組

CX系全国ネットで話題のテレビ番組を提供しているヤマハでは、ポピィ、チャビィ、クッションバイク20のテレビコマーシャルをながして、皆さまのご商売のお手伝いをしております。

- クイズ・グランプリ (月-金/午後7時30分-7時45分)
- プロ野球・ナイター中継 (木、金/午後7時30分-8時54分)
- 土曜劇場・嫁だいらん (土/午後9時-9時45分)



に毛利は二位の安良岡をとらえ、執ようにトップを追いつづけた。が排気量の差はいかんともしがたく、いま一步のところまで第一ヒート二位に終わった。その間一時間七分七秒。そして三時間後に迎えた第二ヒートの熱戦は、第一ヒートの再現。三十四度の猛暑の中で、再び毛利がトップの岩崎を追い上げる、三位で毛利を追うスズキ500の安良岡、そして糟野、阪本裕介、佐藤のTZ350たち。

しかし金谷秀夫選手の陣頭指揮を受けて健闘をつづける毛利の追込みも、いま一步届かぬまま27周を終了。とはいえ、二台のビッグマシンの間に割って入り、堂々の走りでも二ヒート二位、総合二位、350ccクラス優勝を獲ちとった毛利の健闘に一段と高い観衆の拍手が送られていたことはいままでもない。

★ヤマハ用品・部品・新製品ご案内

サンバイザー付きヘルメット

「AS30」

手軽なかぶりやすさで定評の普及型ヘルメットAS-3にかわる新製品。従来のツバの他にグリーンサンバイザー(陽よけ)もついて天候に合わせて自由に交換できるようにしています。
標準小売価格 ¥ 500円。



●販促用品にもぜひどうぞ——

使用済みオイル缶を灰皿や貯金箱に変える

「キャンリット」

使用済みのオートループオイルやギヤオイルの1缶が、灰皿に、花いけに、鉛筆立てや貯金箱に生れ変わる「キャンリット」。缶のフタを切りとってこれをかぶせるだけでOK、空缶も広い用途の容器に早変わりします。お求めは担当セールスマンへ。



スポーツの秋・菅生、味覚の秋・菅生。 のびのび、さわやか9月の菅生



赤トンボが大空に舞う。
さわやかな風がほほを撫で、木立を渡る9月の菅生。
大きな自然の中で、のびのびと心ゆくまでスポーツごころを満たす絶好の季節。
そしてまた食欲の秋に、菅生の味覚が一段とさえる季節。
スポーツの秋に、モータースポーツのビッグイベントも開催。
さあ、秋の菅生をお客さま共どもお楽しみください。

9月11～12日 注目のビッグイベント! 全日本選手権第8戦・菅生ロードレース大会



9月のスポーツランド菅生

- キャンプ村、15日までオープン
- なし狩り、リンゴ狩りバス運転
- ★5日 プロダクション・ロードレーシングスクール⑤
菅生SLカート教室
- ★12日 全日本選手権第8戦・菅生ロードレース大会
- ★15日 菅生セフティライディングスクール③
- ★18～19日 第1回ジャパンカートレース(全日本選手権第5戦)
- ★26日 SCCミニバイクロードレース⑥
トライアル宮城県選手権④



〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生字路石

訂正とお詫び

本誌前号の「ヤマハ用品・部品・新製品ご案内」欄でご紹介の「サイドボックスAS30」は、単に「サイドボックス」の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。(「AS30」は左記のヘルメットの商品名です)

PX10LEJ (チャレンジモデル)

- 【新たな特徴】
1. コンペティションカラー：シルバーグレーを採用
 2. ストロングライト93でアッセンブルされたボトムブラケット。アウターギヤを1枚あげて(53T)よりスピーディにし、インナーギヤは3枚おとし(42T)、悪条件も容易にクリヤーできるものとした。またクランクアームを2.5mm短縮(170mm)、日本人向きとした
 3. ホイールの強化と狂いの発生を最小限に防止するためスポークを銅線でバインドした

PR10LJ (オールマイティモデル)

- 【新たな特徴】
1. コンペティションカラー：シルバーグレーを採用
 2. ストロングライト49でアッセンブルされたボトムブラケット。アウターギヤは従来通り(52T)とし、インナーギヤを3枚おとし(42T)、スムーズ化した
 3. 定評あるマフックレーサー、精悍なハンドレストボディ
 4. フリーホイール歯数をワイド化し(14～24T)、あらゆる走行条件にチャレンジできるオールマイティなロードレーサーを実現
 5. フロントディレーラーをスーパーコンペティションに変更、いままで以上に迅速、適確なチェンジを可能とした

J10J (グレードアップした入門モデル)

- 【新たな特徴】
1. プジョーステージカラーのホワイトに、フレームの各ステーおよびエンドをクロームメッキ仕上げとして総体的にグレードアップを果たした
 2. リヤディレーラーはニュータイプのプレステージ
 3. 黒の綿パーテープを装着
 4. サドルはギヤレイ275のレーシングタイプを標準装備した
 5. ちょっと大人になった入門車として、需要層の巾を拡大



電圧計つきのEF1500



電気を自由に 持ち運ぶ

新発売

4サイクル

ヤマハ・ゼネレーター

EF1500

タフで軽量、音の静かな4サイクル高性能エンジンと、交直両用の発電機をコンパクトにまとめた新型ヤマハ・ゼネレーターEF1500が発売の運びとなりました。現場までの持ち運び、現場での稼働、すべてにわたって使用者優先の思想を貫いて設計されたこのEF1500は、無類の経済性、耐久性をもつほか、作動音、振動を最少限におさえ、夜間作業時のムダな気苦労をなくし、作業員の疲労も少なくするすぐれたポータブル発電機です。

動力に照明に、電気が手軽に持ち運べる！

●土木建設業、電気業、ガス・水道業関係の電動工具、コンプレッサー、水中ポンプ、送風機、ベルトコンベア、照明など。●漁業関係の集魚灯、照明など。●鉱業関係のハンマードリル、非常電源、照明など。●農林業関係のチェーンソー、乾燥機、刈払機、家畜用ヒーター、照明など。●商業・運輸業関係の移動販売照明、屋外展示場、冷凍機、倉庫内暖房など。その他、電気の必要なところに。

●7つの大きな特徴

- ①安定した出力特性に富む高トルクで粘りつよい4サイクルエンジン
- ②オイル切れを防止するオイル残量確認窓付きの親切設計
- ③満タン6.5ℓで約5時間の連続稼働を約束する経済性
- ④操作部前面集中方式の扱いやすさ。電圧計つきも用意
- ⑤本体を上下側面四方から囲むフルパイプガードで耐久性も大
- ⑥大型吸排気サイレンサーを採用し、運転作動音を低減
- ⑦振動、衝撃の吸収にすぐれた斜め方式のラバーマウントを採用

		主要諸元		
交 流 電 機	周波数(Hz)	50	60	
	定格出力(KVA)	1.25	1.5	
	定格電圧(V)	100		
	定格電流(A)	12.5	15	
	定格回転数(rpm)	3,000	3,600	
	直 流 機	定格出力	12V・8.3A (100W)	
電 機	励磁方式	自己励磁方式		
	力率	1.0		
	駆動方式	直結		
エ ン ジ ン	エンジン型式	4サイクル空冷エンジン		
	総排気量(cc)	179		
	連続定格出力	50Hz	60Hz	
		(PS/rpm)	3.0/3,000	3.5/3,600
	使用燃料	ガソリン		
	燃料タンク容量(ℓ)	6.5		
	燃費	満タンで約5時間		
重量(kg)	43			
寸法(全長×全巾×全高)		573×365×455		

★仕様は予告なく変更する場合があります。

新発売 さらに魅力を増した New プロジョー・サイクル



PX10LEJ



PR10LJ



J10J



げんきなボクはクッションバイク

販売店のみなさまへ

げんきな子供たちの人気のマトは乗物。とくに自分ひとりて自由にあやつれる自転車は最大の宝ものです。それだけに、いつも新しい乗物には目を光らせています。『クッションバイク20』は、そうした子供たち

にとって、まさにビッグニュースの新製品。前後についたクッションが、バイクなみのハンドルが、子供たちの乗物にかける大きな夢を育てます。初めて自転車に乗れたときの、あの新鮮な感激を思い起して、どうぞ『クッションバイク20』をお客さまにおすすめてください。



- 『クッションバイク20』は5-9才用のミニサイクルです。
- 市販の補助輪も簡単に取り付けられます。
- 標準現金価格 ¥29,800

YAMAHA クッションバイク*20
CUSHION BIKE *20